

Waseda RIEEM Workshop

「再生可能エネルギーの高度利用に向けて」

2017年6月30日（金）

於：早稲田大学・早稲田キャンパス 14号館 10階 1040教室

開催趣旨

固定価格買い取り制度導入後5年超が過ぎ、今後は導入された再生可能エネルギーを定着させ高度利用するための工夫が必要とされている。そのためには、地球温暖化防止のための政策手段（排出権取引制度、炭素税、エネルギー税等）の枠組みの中で、再エネの導入・利用を改めてとらえなおす必要がある。本ワークショップは、そのような新たな研究展開に向けて、研究者が相互に認識を共有することを目的とする。

プログラム

司会 鷲津明由

15:00 開会の辞

早稲田大学 有村俊秀

15:00-15:50

早稲田大学 鷲津明由（共著者：中野諭）

「次世代エネルギーシステム分析用産業連関表を用いた分析について」

15:50-16:40

早稲田大学 功刀祐之（共著者：有村俊秀）

「風力発電の立地が地域コミュニティーに与える影響」

休憩（コーヒースタンド）

17:00-18:00

ハワイ大学 樽井礼

「米国における再生可能エネルギーの統合：近年の政策と研究動向」

18:00 閉会の辞

早稲田大学 鷲津明由

主催 環境経済・経営研究所（RIEEM）

共催 次世代科学技術経済分析研究所、先端社会科学研究所

※ 出席希望の方は rieem.waseda-at-gmail.com にご連絡ください。

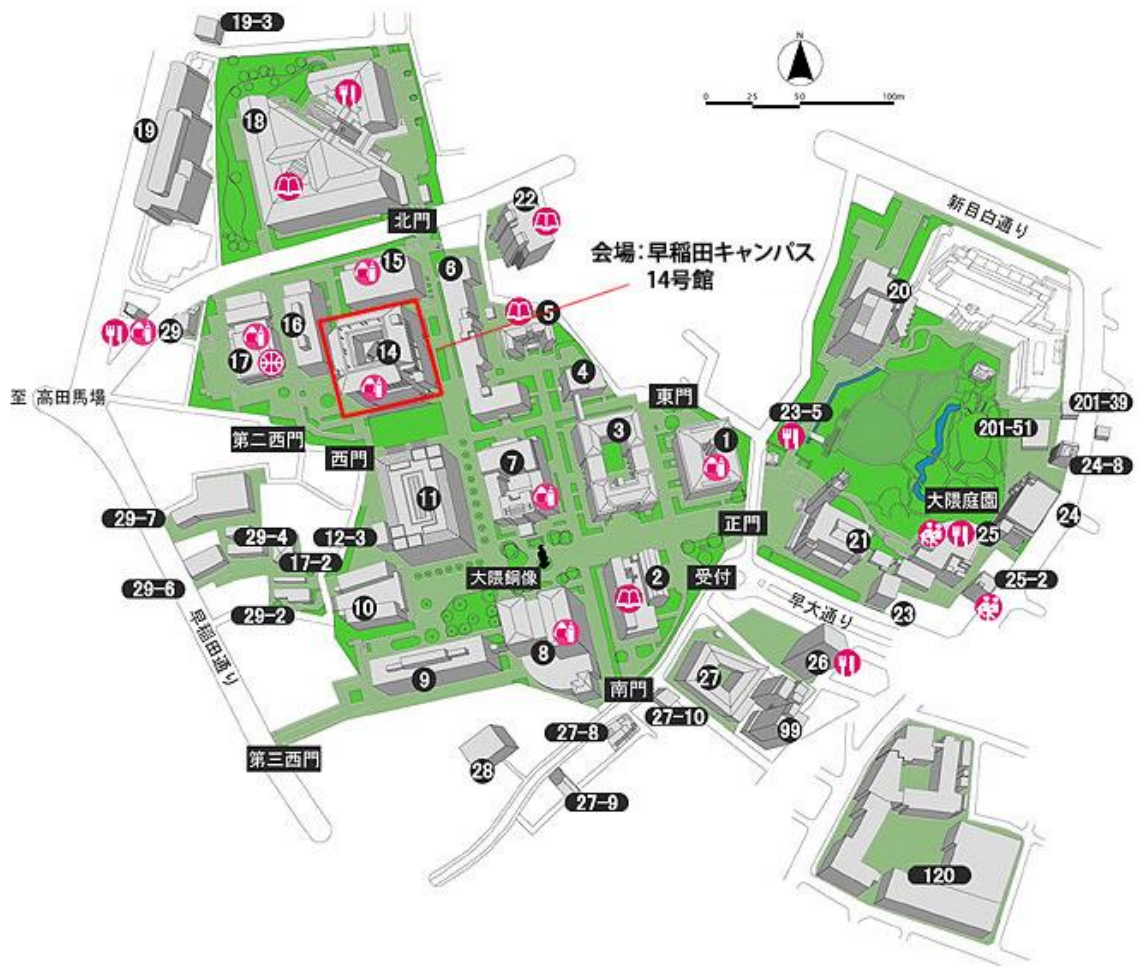
※ 14号館1階からは、購買部の横に2基あるエレベータをご利用ください。

※ 本ワークショップは環境省環境研究総合推進費 2-1501 の助成を受けています。



WASEDA University

早稲田キャンパス 14号館



※ 14号館1階からは、購買部の横に2基あるエレベータをご利用ください。